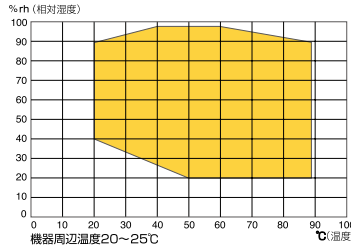


恒温恒湿試験機

TPCF/TPAF

変えてはいけないカタチ。

- -40℃から+150℃の広い範囲の試験に対応できます。
- 外装、内槽ともステンレス製ですのでクリーンで長持ちします。
- 観測窓、室内照明灯、内径50mm ケーブル孔を標準装備。
- 棚板1枚と棚受け1組が標準で付属します。
- キャスタ・アジャスタ標準装備。



TPCF-288-20
※外観が変更になる場合があります。

型式	TPCF	TPCF-288-20	TPCF-448-20	TPCF-800-20	TPCF-288-40	TPCF-448-40	TPCF-800-40	
	TPAF	TPAF-288-20	TPAF-448-20	TPAF-800-20	TPAF-288-40	TPAF-448-40	TPAF-800-40	
TPCFシリーズは温湿度調節器がタッチパネル式(TP-2000)/TPAFシリーズは温湿度調節器がデジタルパネル式(TP-200)となります。(P.6参照)								
内容積/質量(約)	288ℓ/330kg		448ℓ/345kg		288ℓ/330kg		800ℓ/585kg	
寸法	内寸法 (W×D×Hmm) ※突起部分は含みません。	600×600×800		800×700×800		1000×800×1000		
	棚板有効寸法 (W×Dmm)	570×570		770×670		970×770		
	外寸法 (W×D×Hmm)	1180×1155×1770		1370×1255×1770		1570×1355×1890		
調湿方式	PID制御方式							
電源	電圧(50/60Hz、変動±10%)	AC200V-3φ						
	最大消費電力	8.5kW	11.0kW	11.5kW	8.5kW	11.0kW	12.3kW	
	最大電流	25A	32A	34A	25A	32A	36A	
使用周囲温度範囲	5~35℃(※性能保証周囲温度23℃±3℃)							
性能	温湿度範囲	-20~150℃/20~98%rh			-40~150℃/20~98%rh			
	温湿度変動幅	±0.3℃ ±2.5%rh(但し±0.5℃ at 100.1~150℃)						
	温湿度分布	±0.3℃ ±2.0%rh(但し±0.75℃ at 100.1~150℃)						
	温度上昇時間(at 23℃)	-20→150℃ 約55分以内			-40→150℃ 約55分以内			
	温度下降時間(at 23℃)	20→-20℃ 約50分以内			20→-40℃ 約60分以内			
冷凍システム	冷凍方式/冷凍機	機械式単段圧縮冷凍方式(-70℃タイプは2元式)/空冷全密封ロータリー式冷凍機						
	冷凍機電気容量	1.1kW	1.5kW		1.1kW	1.5kW	2.2kW	
	膨張機構/冷却機	定圧式膨張弁+自動膨張弁/多段式プレートフィンコイル						
加熱器	ヒータ	Nicro線ストリップヒータ						
	電気容量	3.6kW	4.5kW		3.6kW	4.5kW		
加湿器	ヒータ	シーズヒータ(プラグ型)						
	電気容量	2.6kW	3.5kW	4.0kW	2.6kW	3.5kW	4.0kW	
槽内攪拌用送風機	シロッコファン60W	シロッコファン60W×2		シロッコファン60W	シロッコファン60W×2			
給水方式/タンク/水質	自給式ポンプ/20ℓタンク/純水10μS/cm以下							
外装材/内槽材/断熱材	ステンレス鋼板(SUS443J1)/ステンレス鋼板(SUS443J1)/グラスウール、発泡プラスチック断熱材、ロックウール							
棚板	等分質量15kg ステンレス鋼板(SUS443J1) 1枚付属							
棚段	フリーセット12段		フリーセット17段		フリーセット12段		フリーセット17段	
ケーブル孔/標準装備	左側面1ヶ所 内径50φ/観測窓、室内照明灯(60W)、給水ポンプ、キャスタ、アジャスタ							

※扉の開閉は常温で行ってください。 ※オプション装着時は、温度分布が異なる場合があります。
 ※高温多湿条件での長期連続運転についてはご相談ください。 ※無試料時の場合。
 ※+40℃以下の連続運転は、着霜の為運転時間に制限があります。 ※上記仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。
 ※JTM K 01に基づきます。

注意 ・この装置においては、温湿度試験を目的とされたものです。 ・槽内に多量な水分を含むものは入れないでください。(但し滴程度の極少量の水分なら可能です)
 ・製品や部品の保証はいたしますが、検査内容の保証はいたしませんので必要な場合はご一報ください。 ・有機溶剤や有機ガス類は使用しないでください。

JTM K 01 は2012年よりJTM K 07(温度試験槽 性能試験方法及び性能表示方法)または、JTM K 09(温湿度試験槽 性能試験方法及び性能表示方法)に変更となりました。